

衣装替え、舞台装置にこだわり

きよつから名古屋で
愛教大演劇部が公演

刈谷市の愛知教育大演劇部「劇団把。夢（パム）」の卒業公演「散歩する侵略者」が八日、名古屋市天白区の劇場ナヒロフトで



チラシを手に卒業公演をPRする4年生部員たち＝刈谷市の愛知教育大で

開かれる。一九七九年に旗揚げし、四十周年を迎えた劇団の百二十二回目の定期公演。映画化もされている前川知大さん原作の舞台を披露する。

団員二十人が昨年九月から準備や稽古を重ねてきた。登場人物の感情の変化に合わせて事細かに替えていく衣装が見どころの一つだ。舞台装置にこだわり、高さ二階の二階建て建造物などを木で手作りした。百以上の色とりどりのライトも用意し、空間や人物の心情を演出する。

「侵略者」と侵略される側の心の葛藤を表現する。演出を担当する四年生の井田輪代表（こ）は「侵略する者とされる者、それぞれの感情の機微と反応の差異を劇場で楽しんでほしい」と来場を呼び掛ける。

五回公演。開演時間は八日午後六時、九日午後一時と五時、十日午前十時半と午後二時半。十日午後の公演は残席わずか。入場料は事前に予約すれば一人八百円。予約無しは千円。四人以上の団体は予約すれば一律二千円。予約はメールでパム＝gekidanpamu122@gmail.com＝へ。
(神谷慶)